

04

宮城県

組合員と共に歩み続けるJAを目指して

みやぎ登米農業協同組合

遠藤公訓

えんどうたかのり

組合員と共に歩み続けるJAを目指して



JAみやぎ登米 遠藤 公訓

1

経営理念

地域環境を守り、
食と農を通じ、
心豊かなくらしに
貢献します。

C R E D O (クレド)

「向上心」 (ambition)

わたしたちは、現状に満足せず、自ら課題を見つけ、
創意工夫し解決に向けてチャレンジします。

「チームワーク」 (teamwork)

わたしたちは、お互いを尊重し、共に成長し続けます。

「信頼」 (trust)

わたしたちは、信頼を高め、地域になくてはならない
存在を目指します。

2

課題抽出・整理

総合農協として事業を継続していく為には、それを支える組合員・利用者が必要である。

1. 正組合員の減少

高齢化に伴う離農と農業後継者不足により、正組合員数は減少の一途をたどっている。

2. 准組合員の増加

登米市の人口は高齢化等により毎年1,000人強の人口減。農家人口も減少し深刻な担い手不足となっている。それに比例し組合員数も毎年減少傾向にある。

組合員総数における准組の割合は正組とは対照的に年々増加傾向にある。

要因としては、住宅ローンやマイカーローンといった組合員資格を有することによって有利な商品を利用することが出来るためと考える。これからのJA経営を考慮した場合に准組の利用率が大きく経営を左右してくる為、JAの事業内容などを広く紹介し、他部門の利用拡大を図っていく必要がある。

組合員数推移

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
正組合員	13,337人	13,178人	12,927人	12,681人	12,467人
准組合員	2,517人	2,565人	2,657人	2,735人	2,760人
合計	15,854人	15,743人	15,584人	15,416人	15,227人
准組合員割合	15.8%	16.3%	17.0%	17.7%	18.1%

登米市人口の推移

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
世帯数	27,207戸	27,254戸	27,299戸	27,249戸	27,271戸
総人口	81,511人	80,476人	79,417人	77,959人	76,912人

【SWOT分析】 地域人口減少がもたらすJAの課題

	強み (Strengths)	弱み (Weaknesses)
内部環境	①総合農協 ②JAの認知度 ③地域密着型 ④地域貢献活動 ⑤組合員組織 ⑥JAへの信頼性 ⑦顧客の情報量	①組合員・利用者の減少 ②世代交代によるJA離れ ③員外利用の低さ ④農業の後継者不足 ⑤事業間の情報共有化の不足 ⑥JAからのPR不足 ⑦顧客ニーズへの対応の遅さ
外部環境	機会 (Opportunities)	脅威 (Threats)
	①少子化社会 ②食の安全安心への関心の高まり ③Uターン、Iターン現象 ④准組合員の増加 ⑤定年退職者の増加 ⑥IT環境の充実 ⑦地域とのふれあい	①政府によるJA改革 ②後継者不足 ③民間企業の農業分野新規参入 ④顧客ニーズの多様化 ⑤組合員の高齢化による離農 ⑥次世代のJA利用率の低さ ⑦農産物価格の低迷

クロスSWOT分析

	機会	脅威
~ビジョン~ 「組合員と共に歩み続けるJAを目指して」	①少子化社会 ②食の安全安心への関心の高まり ③Uターン、Iターン現象 ④准組合員の増加 ⑤定年退職者の増加 ⑥IT環境の充実 ⑦地域とのふれあい	①政府によるJA改革 ②後継者不足 ③企業の農業分野新規参入 ④顧客ニーズの多様化 ⑤組合員の高齢化による離農 ⑥次世代のJA利用率の低さ ⑦農産物価格の低迷
強み	積極的な攻撃	差別化戦略
①総合農協 ②JAの認知度 ③地域密着型 ④地域貢献活動 ⑤組合員組織 ⑥JAへの信頼性 ⑦顧客の情報量	・ポイント制の導入 ・組合員の確保 ・食農教育の充実 ・高齢者への生活支援	・総合事業の強みを展開 ・個別的な対応 ・専門分野の強化
弱み	段階的施策	防衛・撤退
①組合員・利用者の減少 ②世代交代によるJA離れ ③員外利用の低さ ④農業の後継者不足 ⑤事業間の情報共有化の不足 ⑥JAからのPR不足 ⑦顧客ニーズへの対応の遅さ	・イベントの開催 ・SNS等でのPR	・組合員の継続利用を確保

取組み①准組合員総代の設置

准組合員戸数の数%基準で支店毎に配分し、選出。任期は3年。議決権はないがJA運動の理解者として総代会に出席し、意見や要望をJA運動に反映させる。

総代研修会、組織活動などへの参加を促し、「食と農の応援者」から「コアとなるパートナー」に育てることを目的とする。

准組合員にJAの役割や価値を伝えるミッションやクレドの創出

准組合員総代

参加を促す様々な誘因



7

取組み②JAポイントサービスの導入とアクティブメンバーシップの確立

ステップアップ

准組合員総代

准組合員

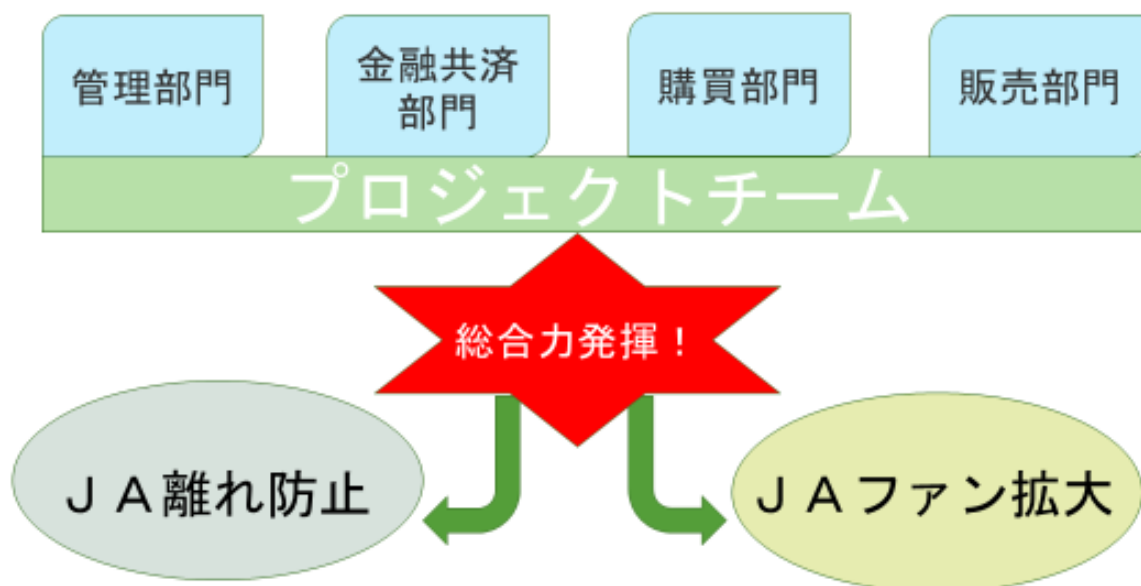
直売所、SS等の事業利用者、アグリフェスタ参加者など

ポイントサービス導入で母数アップ



8

取組み③部門間連携強化のための会議体（プロジェクトチーム）の設置



9

おわりに

JAを取り巻く環境が大きく変化中、利用者ニーズを的確に捉えたサービスの提供が、より求められる時代となっている。現在の環境を見直し、これからも地域密着型で他社には真似できないような事業展開が出来る組織となるよう変化していかなければならない。

その根底には、職員一人一人の意識を変化させる必要がある。そうすることにより、JAファンが増え、地域になくてはならない存在となっていくのであろう。

組合員と共に歩み続けるJAになるため、一人の職員として今やるべきことは何なのかを考え、行動していきたい。

ご清聴ありがとうございました。



10